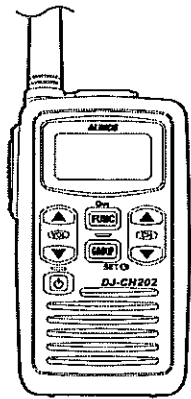
ALINCO

特定小電力ハンディトランシーバー
（総務省技術基準適合品）

DJ-CH202

取扱説明書

本書には基本的な操作方法を記載しています。
拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

アルインコのトランシーバーをお買い上げいただきましてありがとうございます。本製品の機能を充分に発揮させ、効果的にご使用いただくため、この取扱説明書をご使用前に最後までお読みください。アフターサービスなどについても記載していますのでこの取扱説明書は大切に保管してください。また、補足シートや正誤表が入っている場合は、取扱説明書と合わせて保管してください。ご使用中の不明な点や不具合が生じたとき、お役に立ちます。本製品は免許・資格不要の特定小電力無線電話として、各種通信にお使いいただけます。

アルインコ株式会社 電子事業部

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋2丁目3-4 日本橋プラザビル14階 TEL.03-3278-5888
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1丁目10-19 サンエイビル 4階 TEL.052-212-0541
大阪支店 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋4丁目4-9 淀屋橋ダイビル13階 TEL.06-7636-2361
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2丁目13-34 エコービル2階 TEL.092-473-8034

アフターサービスに関するお問い合わせは
お買い上げの販売店または、フリーダイアル 0120-464-007
全国どこからでも無料で、サービス窓口につながります。
受付時間／10:00～17:00月曜～金曜（祝祭日及び12:00～13:00は除きます）
ホームページ http://www.alinco.co.jp/ 「電子事業」をご覧ください。

PS0933SA
FNEL-NJ

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用の前にお読みください。

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損失を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示	表示の意味
⚠ 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号	表示の意味
⚠	△ 記号は、注意（危険・警告含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中には具体的な注意内容が描かれています。
🛇	○ 記号は、行為の禁止であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。
●	● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は AC アダプターをコンセントから抜け）が描かれています。

本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因にて通信などの機会を失ったために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

⚠ 警告

■使用環境・条件

この製品を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
This product is permitted for use in Japan only.

この製品を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

この製品どうし、または他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください。お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

この製品を何らかのシステムや電子機器の一部として組み込んで使用した場合、いかなる誤動作・不具合が生じても製造元および販売元はその責任を負うものではありません。

指定以外のオプションや他社のアクセサリー製品を接続しないでください。故障の原因となります。

自動車などの運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。
運転者が使用するときは車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。

電子機器の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。

内部から漏れた液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。

航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では使用しないでください。
運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたしたり、各種機器が故障・誤動作する原因となります。
病院や医療機関では、医療機器などに支障がないか十分に確認の上、管理者の許可のもとご使用ください。
無線機を使用したことによって、いかなる誤動作・不具合が生じても、当社は一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

イヤホンを使用する場、あらかじめ音量を下げてください。聴力障害の原因になることがあります。イヤホンを耳に装着する際、静電気が放電することがありますのでご注意ください。

このトランシーバーは調整済みです。特定小電力トランシーバーをユーザーが改造、変更することは法律で禁止されています。

布や布団で覆ったりしないでください。熱がこもり、ケースが変形したり、火災の原因となります。直射日光を避けて風通しの良い状態でご使用ください。

水をかけたり、水が入ったりしないよう、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

水などでぬれやすい場所（風呂場など）では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

■ 異常時の処置について

以下の場合は、すぐ本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。異常な状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店、または当社サービス窓口にご連絡ください。お客様による修理は、違法ですから、絶対にお止めください。

- ■異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするとき
- ■落としたり、ケースを破損したりしたとき
- ■内部に水や異物が入ったとき
- ■AC アダプターのコードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

雷が鳴り出したら安全のため本体の電源を OFF にし、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いて、ご使用をお控えください。

■充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器のAC プラグのコードをタコ足配線しないでください。加熱・発火の原因となります。

ぬれた手で充電器のAC アダプターに触れたり、抜き差ししないでください。感電の原因となります。

充電器のAC アダプターを、AC コンセントに確実に差し込んでください。AC アダプターの刃に金具などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。

充電器のAC アダプターの刃に、ほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや加熱により火災・感電・故障の原因となります。

⚠ 注意

■使用環境・条件

テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。

湿度の高い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光があたる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。

調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

インバーターを搭載した電子機器や照明器具などの周辺、ハイブリッドカーや電気自動車などの車内や周辺ではノイズの影響で電波障害を受けることがあります。

磁気カードを無線機の近くに置かないでください。磁気カードのデータが消去されることがあります。

■トランシーバー本体の取り扱いについて

アンテナを誤って目などにささないようにしてください。

イヤホン／マイクロホン端子にはオプションのイヤホン／マイクロホン以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

衝撃や水分、異物の混入などによる故障の場合は、保証対象外になります。

■充電器の取り扱いについて

充電器のAC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。必ずAC アダプターを持って抜いてください。

充電器のAC アダプターを熱器具に近づけないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

■保守・点検

お手入れの際は、安全のため必ず本体の電源を OFF にして、電池を取り外し、充電器をご使用の場合は、AC アダプターを AC コンセントから抜いてください。

本体や充電器のケースは、開けないでください。けが・感電・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご依頼ください。

汚れた場合は柔らかいきれいな布で乾拭きしてください。
ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤などを使うと外装や文字が変質する恐れがあります。
洗浄剤などを直接無線機に吹き付けないでください。
機器内部に浸透し故障の原因となります。

製造番号ラベルをはがさないでください。
製造番号がわからないと保証サービスをお受け頂くことができません。

イヤホンマイクなどのケーブルは、時々軽く湿らせた布で拭いてください。汗はケーブルを劣化させる原因になります。

使用前のご注意

■ご使用環境
高温、多湿、直射日光の当たるところ、粉じんの多い場所は避けてお使いください。

■水につけないで
JIS IPX4相当の防沫性能がありますが、ゴムキャップや電池フタをきちんと閉じていないと防水性能を保証できません。また完全防水構造ではありませんので水没、流水での洗浄などは絶対におやめください。
濡れたあとは乾いた布で手早く拭き取り、電池を抜いて内部をよく乾燥させてください。
防水に使われているゴムキャップなどは経年劣化が生じ、防水性が失われることがあります。
弊社では防水性についても製品と同じ保証期間ですのでご了承ください。

■分解しないで
特定小電力トランシーバーの改造、変更は法律で禁止されています。分解したり内部を開けることは絶対にしないでください。

■ご使用禁止場所
本機は総務省技術基準適合品ですが、使用場所によっては思わぬ電波障害を引き起こすことがあります。次のような場所では使用しないでください。
（航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺）

日本国内でのみ使用できます。
This product is permitted for use in Japan only.

■通信距離
通信できる距離は周囲の状況によって大きく異なります。
- 海上、山頂など条件のよい所　：2kmまたはそれ以上
- 河原など障害物のない平地　：500m～1km程度
- 見通しのよい道、郊外の住宅地　：500m程度
- 市街地のような障害物の多い所　：200m程度
- ショートアンテナやミドルアンテナでの通信距離は短くなる場合があります。

■障害物
本機に採用されている電波は直進性が高いため、間にビルや橋脚、または山や丘陵等の障害物があると通信できる距離が短くなります。

■バッテリーセーブ
電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約5秒間キー操作がないとこの機能が動作します。
信号を受信するかキー操作がおこなわれるとバッテリーセーブは解除されます。
バッテリーセーブ動作時に信号を受信すると、通話の始めが途切れる場合がありますが異常ではありません。

■第三者による傍受
電波を使用している関係上、無線機間の通話は第三者による傍受を完全に阻止することはできません。そのため機密を要する重要な通話に使用することはお勧めできません。

■本機のセットモードには「グループトーク」機能が搭載されています。
従来製品とグループトークによる通話をおこなった際、会話が途切れることがあります。
このような場合は弊社ホームページに記載してある上級セットモードの「トーンマージン拡張」機能をONにしてお試しください。

特定小電力の通信制限について

特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

3 分制限（3 分以上は連続で送信できません）……………………

送信、受信あわせて 3 分以内です。
10 秒前に警告音が鳴ります。通信時間が合計 3 分になると自動的に送信は停止します。

注意 3 分の通信時間制限により、自動的に通信が停止した後は、約 2 秒経たないと次の送信はできません。

キャリアセンス（受信中は送信できません）……………………

一定の強さ以上の信号を受信しているときは PTT キーを押しても送信できません。
受信中に PTT キーを押すとアラーム音が鳴り、送信できないことをお知らせします。

注意 ビープ音を OFF にしているとアラーム音は鳴りません。

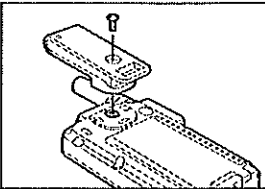
付属品と取り付け方

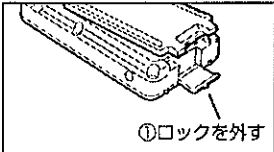
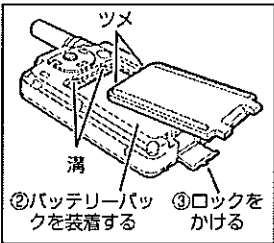
付属品をご確認ください
- □充電器
- □ACアダプター
- □リチウムイオンバッテリーパック
- □ベルトクリップ（ネジ1本）
- □取扱説明書
- □保証書

注意 保証書にご購入の日付が記載されていないときは、領収書・レシートを保証書といっしょに保管してください。ご購入日が証明できる書類がないと保証サービスは無効となりますのでご注意ください。

ベルトクリップの取り付け……………………………………

ベルトクリップをネジで本機の背面に取り付けます。

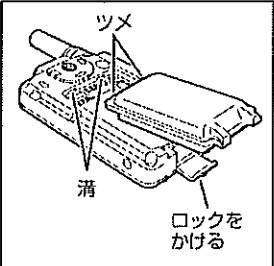
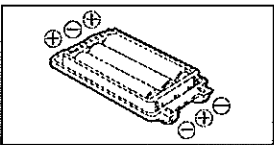
注意 ネジは必ず専用品をご使用ください。また、定期的に、ネジにゆるみがないか点検してください。
ベルトクリップは消耗品です。スペアー部品として販売していますので、お買い求めの際は販売店にご相談ください。
ネジ付きベルトクリップ：EBC-28

バッテリーパックの装着

①カバーを開ける
　ロックを外してカバーを開けます。

②バッテリーパックを装着する

③カバーを閉める
　ツメを合わせてカバーを閉め、ロックをかけます。
　きちんと閉まっていることを確認してください。

乾電池ケース（別売オプション）の装着

別売オプションの乾電池ケースEDH-38の使用方法を説明します。

①乾電池を取り付ける
　市販の単四形乾電池３本を乾電池ケース内側の「+」、「−」の表示にしたがってセットします。アルカリなど高性能の乾電池をおすすめします。※単四形充電池は、使用できません。

②乾電池ケースを装着する
　乾電池ケースのツメを本体の溝に差し込んで装着し、ロックをかけます。きちんと閉まっていることを確認してください。

注意 **乾電池に関するご注意**
乾電池は使い方を誤ると破裂や破損、液漏れの原因となります。
次の注意事項を必ずお守りください。
- 使用した乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しない。
- 3本とも同じ種類の乾電池を使用する。
- 分解、加熱、充電しない。
- 長期間使用しないときは、乾電池ケースをトランシーバー本体から取り外しておく。

充電池および充電器

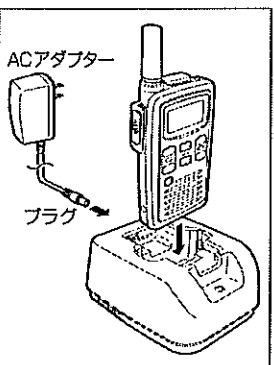
- ●リチウムイオンバッテリーパック：EBP-80 (3.7V 980mAh)
- ●充電器：EDC-182
- ●ACアダプター：EDC-139

バッテリーパックは出荷時には十分に充電されていません。お買い上げ後に満充電してからご使用ください。充電器の動作温度範囲は、0℃～+40℃です。
空のリチウムイオンバッテリーパックを満充電するのに要する時間は約３時間です。

注意
- 電圧、容量、寸法などの仕様が弊社製品と合わない可能性があり、故障の原因となりますので市販の充電池は絶対に使用しないでください。
- 弊社の充電器は対応する弊社製品専用です。市販の充電池を充電することはできません。
- 長期間使用しないときは、バッテリーパックを本体から取り外してください。
- バッテリーパックを持ち運ぶ場合は、端子がショートしないようにビニール袋に入れるなど注意してください。端子がショートすると、大電流が流れて火傷や火事を引き起こす危険性があります。
- トランシーバーに装着した状態でうまく充電できない場合は、バッテリーパック単体で充電してみてください。

充電器の使用方法……………………………………

①トランシーバーにリチウムイオンバッテリーパックを装着します。
②ACアダプターのプラグを充電器背面のジャックに接続します。
③ACアダプターを家庭用コンセントAC100Vに接続します。
④トランシーバーを充電器のポケットに挿入します。充電が開始すると赤色ランプが点灯します。
⑤充電が完了すると、緑色ランプが点灯します。

- トランシーバーから取り外してバッテリーパックのみを充電することもできます。
- 本体及び充電器の充電端子はときどき乾いた布で掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。

注意 **電池消耗時の動作について**
電池が消耗した状態で、大きな音が鳴ると電池に負荷がかかり、下記のような動作をすることがありますが故障ではありません。
このような場合は、バッテリーパックを充電してください。
- ●スピーカーから大きな音が鳴ったとき、ディスプレイ表示が消える
- ●バッテリーマークが空になっていないのにディスプレイ表示が消える

各部の名前とはたらき

前面部

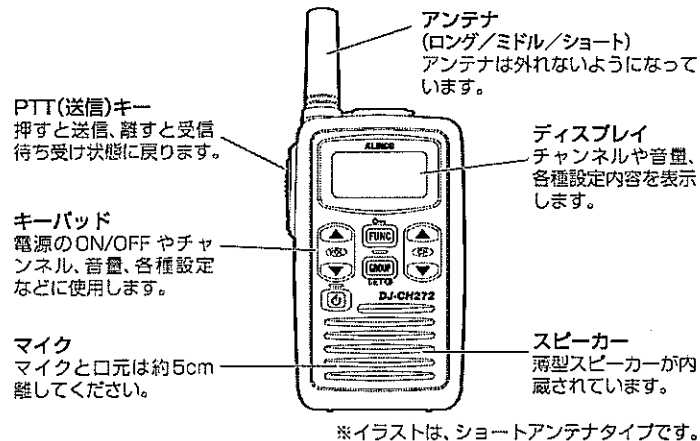
アンテナ
(ロング/ミドル/ショート)
アンテナは外れないようになっています。

PTT(送信)キー
押すと送信、離すと受信待ち受け状態に戻ります。

ディスプレイ
チャンネルや音量、各種設定内容を表示します。

キーパッド
電源のON/OFF やチャンネル、音量、各種設定などに使用します。

マイク
マイクと口元は約5cm離してください。

スピーカー
薄型スピーカーが内蔵されています。

※イラストは、ショートアンテナタイプです。

注意 マイク部にシール類を貼り付けないでください。相手に通話音声が聞こえなくなります。

上面部

ディスプレイ

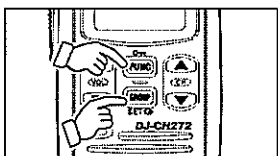
チャンネル表示について

●交互通話時　レジャー、ビジネス両方の20チャンネルを搭載しています。

L表示のチャンネルでは、従来のレジャータイプ(9チャンネル機)と通信できます。

b表示のチャンネルでは、従来のビジネスタイプ(11チャンネル機)と通信できます。

●中継通信時　レジャー、ビジネス両方の27チャンネルを搭載しています。

9チャンネル　　18チャンネル

基本操作

本機の基本となる操作方法を説明します。カスタマイズ方法や拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。

交互通話

■電源を入れる

[⏻]キーを約2 秒間押します。
電源を切るときも同じ操作をします。

■音量を調整する

VOL[▲/▼]キーを押す

ディスプレイに音量レベル「voL-15」が表示されます。
キーを押すと「ピッ」という音が聞こえますので適切な音量に調整してください。
音量調整は0 ~ 30 の31 段階で、初期状態は「15」に設定されています。

■チャンネルを合わせる

CH[▲/▼]キーを押す

通話したいトランシーバーすべてを同じチャンネルに合わせます。L(レジャー)、b(ビジネス)の表示に注意して合わせてください。

メモ キーを押し続けると連続してチャンネルが切り替わります。
CH[▲/▼]キーを同時に押すと「ザー」というノイズが聞こえ音量の目安となります。適切な音量に調整してください。

■受信する

信号を受信するとスピーカーから相手の声が聞こえます。
インジケーターが緑色に点灯し、ディスプレイのSメーターが信号の強さに応じて点灯します。

メモ 本機にはテールノイズキャンセラー機能を搭載しており受信終了時の「ザッ」というノイズが低減されています。
(テールノイズキャンセラー機能を搭載した機器間の通話においてのみ有効)

■送信する

信号を受信していないことを確認してから[PTT]キーを押します。
インジケーターが赤色に点灯し、Sメーターも同時に点灯します。
[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。

注意 一定の強さ以上の信号を受信しているときは、警告音「プププ」が鳴り送信できません。(キャリアセンス)

[PTT]キーを離すと、受信待ち受け状態になります。

中継通話

直接の通信では電波が届かない場所にいる相手と中継器を介して通話することができます。別途弊社製の中継器が必要です。

■チャンネルを合わせる

CH[▲/▼]キーを押す

中継通話用チャンネルのL10 ~ L18, b12 ~ b29を選択します。
→「中継」が点灯します。

■送信する

[PTT] キーを押し続けます。
→直後に「ピピッ」という音が鳴ります。
[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。

メモ お使いになる中継器の設定をご確認してください。
中継器にグループトーク機能が設定されている場合は、本機もグループトーク機能を設定し、グループ番号も合わせてください。

注意 中継用チャンネルでは、子機同士の直接通話はできません。
それぞれの機器が至近距離にあると誤動作することがあります。
子機ー中継器間、子機ー子機間は10m以上離してください。

コールトーン機能

送信中にCH[▲/▼]キーを押すと、呼び出し音が鳴り相手を呼び出すことができます。
[▲]と[▼]キーでは音色が異なります。

注意 ビープ音をOFF にしているとき、呼び出し音は鳴りません。

グループトーク機能

同じグループの人とだけ通話したいときは、グループトーク機能を使用します。

①[GROUP]キーを押す

グループ番号が点灯します。

②グループ番号を合わせる

[FUNC]キーを押しながらCH[▲/▼]キーを押して自分のグループのトランシーバーをすべて同じグループ番号にします。

③送信する

[PTT]キーを押しながら、マイクに向かって話します。
同じチャンネル、同じグループ番号の相手とだけ通話できます。

メモ
・グループトークはトーンスケルチと呼ばれることがあります。
・グループトーク機能を設定していないトランシーバーは通話音は聞こえますが、グループトーク機能を設定しているグループとは通話できません。

注意 従来製品と組み合わせて使用した際に、トーン信号の精度差により通話が途切れることがあります。
このような場合は別のグループ番号に設定変更して通話をお試しください。

キーロック

キーロックしておくと誤操作を防止できます。

●簡易キーロック(音量変更可能)

[FUNC]キーを約2 秒押します。
「Loc1」が点滅した後、「🔑」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

●通常キーロック(音量変更不可)

[FUNC]キーと[GROUP]キーを同時に約2 秒押します。
「Loc2」が点滅した後、「🔑」が点灯します。

解除するには同じキー操作をします。

電池残量表示

電池の残量が少なくなるとバッテリーマークが「▭」表示になり、電池の交換時期が近づいていることをお知らせします。さらに残量が少なくなると「▭」表示になります。「▭」表示になった場合は、バッテリーを充電、もしくは新しい電池と交換してください。

メモ 「電源が入らない」「オンオフを繰り返す」「ディスプレイの表示が消える」などの症状が出た場合も電池の消耗が考えられるため、バッテリーを充電、もしくは新しい電池と交換してください。

リセット

設定状態がわからなくなったときに初期化します。

[FUNC]キーを押しながら電源を入れます。
ディスプレイ全点灯中に[FUNC]キーを離します。
工場出荷状態の「L01」になります。

その他の機能

本書に記載していない拡張機能については弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/ →「電子事業」

デュアルオペレーションモード

メイン/サブの2つのチャンネルを1秒ごとに交互受信し、そのどちらとも通話することができるモードです。1台のトランシーバーで2台のはたらきをします。

リモコンモード

本機をリモコンとして、中継器のチャンネルなどを遠隔操作する機能です。
中継器DJ-P101R、DJ-P111R、DJ-P112Rに対応しています。

メモ 誤って拡張機能に切り替わり、ディスプレイにおかしな表示が出たときは電源を入れ直すかリセットすることで正常な状態に回復することがあります。

セットモード

各種機能を用途やお好みに合わせてカスタマイズすることができます。

セットモードにする

①[FUNC]キーを押しながら[GROUP]キーを押します。
→セットモードに入り、項目が表示されます。
②[GROUP]キーを押すごとに項目が切り替わります。
[FUNC]キーを押すと前項目に戻ります。
③CH[▲/▼]キーを押して設定値を変更します。
④[PTT]キーを押して設定を完了します。

メモ セットモードについての詳しい内容や、本書に記載していない上級セットモードについては弊社ホームページをご覧ください。
http://www.alinco.co.jp/「電子事業」

注意 [FUNC]キーを押しはじめたらすぐに[GROUP]キーを短く押してください。[FUNC]キーを長く押す、または[FUNC]キーと[GROUP]キーを同時に長く押すとキーロックする操作になりますのでご注意下さい。

セットモード	機能説明	選択項目	初期値
bt	電池選択(リチウムイオン/アルカリ乾電池)	Li/AL	Li
CP	コンパンダー(バックノイズ低減)	OFF/ON	OFF
vo	VOX(音声検出自動送信)	OFF/LO/HI	OFF
SC	秘話	OFF/ON	OFF
bP	ビープ音(キー操作音、各種アラーム音)	OFF/1 ~ 5	1
EP	エンドピー(送信終了音)	OFF/ON	OFF
bL	ベル(呼び出しお知らせ)	OFF/ON	OFF
LP	ランプ	OFF/5秒/ON	5秒
PH	PTTホールド(送信保持)	OFF/ON	OFF
Pt	PTTオンオフ(送信禁止)	OFF/ON	ON
At	中継器接続手順	OFF/1/2	2
Er	イヤホン断線検知	OFF/ON	ON
Cb	コールバック	OFF/ON	OFF
Po	送信出力 (Hi:10mW/Lo:1mW)	Lo/Hi	Hi
EmG	緊急通報機能(「SET/E」長押しで通報)	OFF/ON	OFF

メモ エンドピー(送信終了音)は送信側から発せられるため、機能をON/OFFする際は送信側機器を設定してください。

故障とお考えになる前に

症状	原因	処置
電源が入らない。表示が消える。	電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。バッテリーパックを充電してください。
	電池の入れ方が間違っている。	電池を正しく入れ直してください。
音が出ない。受信しない。	音量が低すぎる。	適切な音量に調整してください。
	チャンネルが違う。	同じチャンネルに合わせてください。
	グループ番号が違う。	同じグループ番号に合わせてください。
送信できない。	信号を受信している。	信号がなくなってから送信するか、チャンネルを変更してください。
	3分の通信時間制限を超過している。	[PTT]キーを離し、2秒経過してから送信してください。
	PTTオンオフ機能がOFFになっている。	PTTオンオフ機能をONに設定してください。
キー操作できない。	キーロックされている。	キーロックを解除してください。
充電しない。	充電端子が汚れている。	充電端子の汚れを乾いた布で拭き取ってください。
	バッテリーパックがきちんと装着されていない。	バッテリーパックを正しく入れ直してください。

処置を実施しても異常が続くときはリセットしてください。
電池が消耗しているとまれに誤動作することがあります。バッテリーを充電もしくは新しい電池に交換してください。

生産終了製品に対する保守年限に関して

生産終了製品に関しては下記の一定期間補修用部品を常備しています。
不測の事態により在庫がなくなり、修理ができない場合もありますのでご了承ください。
補修用部品の保有期間は生産終了後5年です。

オプション一覧

EBP-80	リチウムイオンバッテリーパック (3.7V980mAhスペア)
EDC-182	充電スタンド (スペア)
EDC-139	ACアダプター (スペア)
EMS-59 (※1)	スピーカーマイク
EME-46A	ヘッドセット
EME-6	ストレートコードイヤホン (オープンエア)
EME-26	カールコードイヤホン (オープンエア)
EME-50	ストレートコードイヤホン (耳かけ型)
EME-52A	イヤホンマイク (オープンエア)
EME-53A (※2)	ヘルメット用ヘッドセット
EME-34A	イヤホンマイク (カナル型)
EME-21A	イヤホンマイク (グレー)
EME-21AB	イヤホンマイク (ブラック)
EME-49A	イヤホンマイク (オープンエア)
EME-39A	咽喉イヤホンマイク
EME-29A	イヤホンマイク (耳かけ型)
EME-57A	イヤホンマイク (カナル型耳かけ)
EME-30A	イヤホンマイク (ブーム型)
EME-51A	イヤホンマイク (耳かけ型)
EME-31A	イヤホンマイク (マイクロ)
ESC-55	ソフトケース
EDH-38	乾電池ケース

(※1) スピーカーマイクは、PTTホールド機能、VOX機能が使用できません。
(※2) バイク用ヘルメットには使用できません。

定格

送受信周波数	レジャーチャンネル	421.8125 ~ 421.9125MHz(受信) 422.2000 ~ 422.3000MHz 440.2625 ~ 440.3625MHz(送信)
	ビジネスチャンネル	421.5750 ~ 421.7875MHz(受信) 422.0500 ~ 422.1750MHz 440.0250 ~ 440.2375MHz(送信)
周波数制御チャンネル	421.8000MHz(受信) 440.2500MHz(送信)	
電波型式	F3E(FM)/F1D(FSK)	
送信出力	10mW/1mW	
受信感度	-14dBu (12dB SINAD)	
音声出力	100mW以上	
通信方式	単信方式、半複信方式	
定格電圧	DC 3.7V / 4.5V	
動作温度範囲	-10℃ ~ +50℃(但し充電は0℃~+40℃)	
寸法	55(W)×93.8(H)×18.8(D)mm (突起物除く) アンテナ長さロング150mm/ミドル72mm/ショート36mm	
重量	約110g (バッテリーパック含む)	

仕様・定格は予告なく変更する場合があります。
本書の説明用イラストは、実物とは字体や形状が異なったり、一部の表示を省略している場合があります。